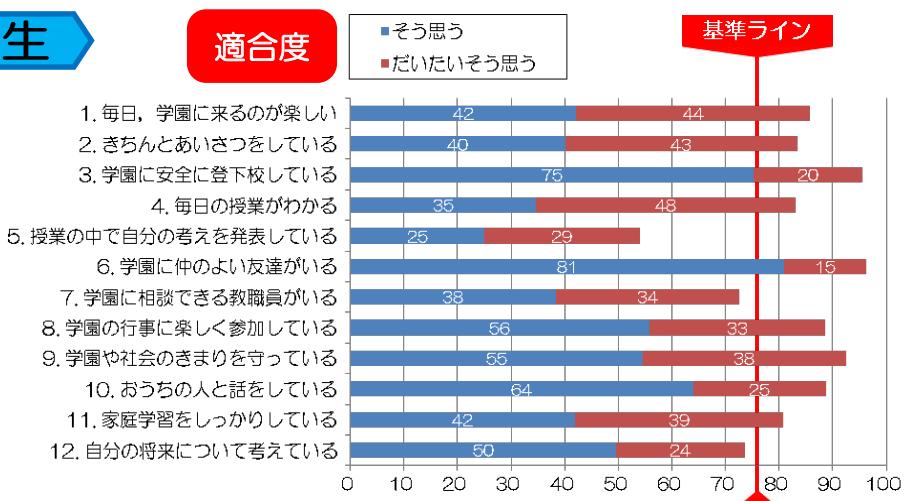


前期学園評価アンケート結果

平成28年
9月実施

学園生

適合度



基準ライン

結果の見方について

- 学園生については適合度のみ、保護者については重要度と適合度についてアンケートを実施しました。
- 適合度については肯定的な回答のみをグラフ化し、75%を判断の基準としています。

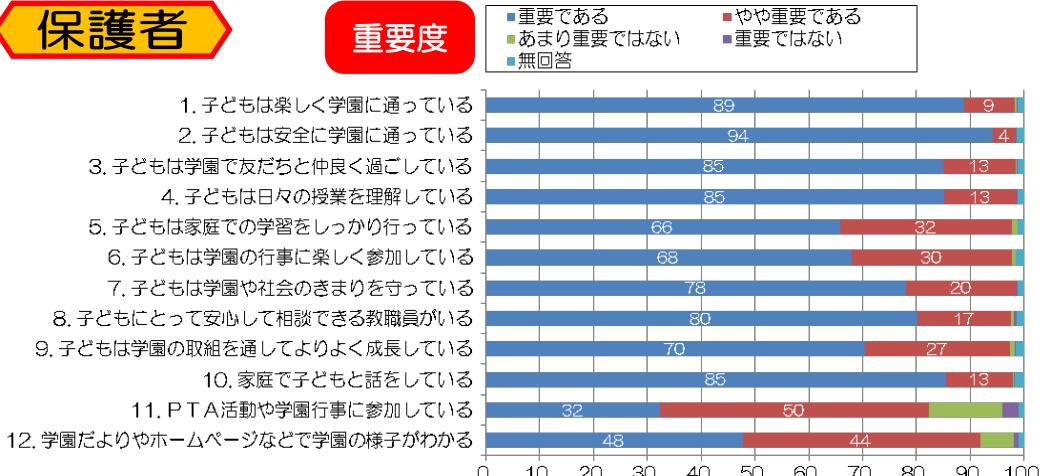
結果をもとにした考察

- 学園生については、「3. 学園に安全に登下校している」「6. 学園に仲のよい友達がいる」「9. 学園や社会のきまりを守っている」の肯定的な回答が特に高く、学園生自身はルールを守る中で友達と友好な関係を築けているという思いをもっていることがうかがえます。反対に、「5. 授業の中で自分の考えを発表していく」が大きく下回っていました。学力を定着する上でも、学んだことをもとに自分の考えなどを発信することは有効であると考えられるので、そのような活動を充実させていく必要があると考えています。

- 保護者アンケートでは、「5. 子どもは家庭での学習をしっかり行っている」が基準を大きく下回る結果となりました。家庭学習の出し方については学園生の実態に応じて工夫を重ねているところですが、授業で学んだことをしっかりと定着させるためにも、学園生自身の意識を高めると共に、保護者の方々との連携を図りながら、家庭での学習習慣をさらに育んでいかなければならないと考えています。

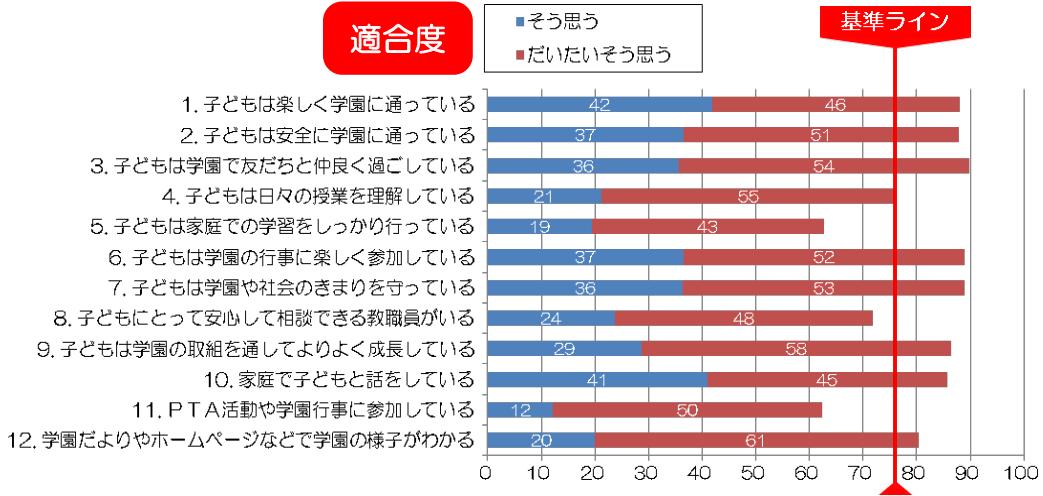
保護者

重要度



基準ライン

適合度



保護者のみなさまには、アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回提出いただいたアンケート用紙は、654枚でした。結果としてはおむね肯定的な回答が多くかったのですが、基準を下回る内容及び自由記述欄にお書きいただいた内容から、保護者の方々のおもいをうかがうことができました。学園運営協議会理事の方からも、地域・保護者の方々のおもいを汲み取りつつ子どもの将来を展望しながら新たな教育課題を乗り越えられる力を付けていかなければならないとご示唆いただきました。これらのことと踏まえ、子どもを中心に据えた取組であることはもちろんのこと、施設一体型小中一貫教育校としてその先駆けとなるよう各取組を常に見直しながら、子どもをよりよく育んでいきたいと考えています。今後も引き続き、本学園教育にご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。